

釧路市立大楽毛学園開校準備協議会 第7回会議 議事要旨

■会議名

「釧路市立大楽毛学園学校開校準備協議会」第7回会議

■開催日時及び場所

2025(令和7)年6月2日(月)午後6時30分

大楽毛中学校 1階 学習室

■報告事項及び議題

(1)報告事項

令和6年度における開校準備協議会の経過について

(2)議題

- ①開校記念日について
- ②校旗のデザインについて
- ③教育部会について
- ④工事スケジュールについて
- ⑤安全な通学路の確保について

■結果

(1)報告事項

事務局より、令和6年度に開催した2回の会議内容について説明した。

(2)議題

- ①開校記念日については、10月25日に決定した。
- ②校旗デザインについては、校章を中央に配置し、校名文字色は金色で左側に縦書きとし、背景色はピース紺に決定した。
- ③教育部会から、教育計画の策定状況や小中教員の連携や合同研修、地域・保護者との連携状況、コミュニティースクール協議会の一本化について報告があった。また、新しい制服・ジャージについても説明があった。
- ④工事スケジュールについて、事務局より既存校舎の改修内容や工事スケジュールについて説明があった。
- ⑤安全な通学路の確保については、以下2点について事務局より報告があった。
 - ・2事業者による、スクールバスの運行体制に向け協議中であること
 - ・大楽毛北3丁目付近の通学路設定案について

■発言要旨

(1)開校記念日について

事務局：開校記念日の設定については、特に基準は無い。阿寒湖義務教育学校の場合は新しい学校名が決まった日を開校記念日とした経過がある。

このことから、「大楽毛学園」についても、校名が決定した10月25日を開校記念日にする案を事務局から提案させて頂きたい。

委員：一番わかりやすくて良いと思う。

会長：他の意見や反対意見も無いようなので、開校記念日は10月25日とする。

(2)校旗デザインについて

事務局：校旗デザインは、校章を中央に配置し、校名を左側または下に配置するのが一般的である。既に校章デザインは決定済みなことから、校章を中央に配置し、背景色の違うデザイン案4つを提示させて頂く。

委員：スクールカラーに合わせるなら、中学校のスクールカラーはブルーであり、近い色としては、紫紺となる。

会長：背景色より、先ずは直ぐに決められそうな、校名を縦書きか横書きかを決めたいと思うがどうか。

委員：縦書きの方が校名は見やすいのではないかと。文字色は現行の金色で良いと思う。

会長：他に意見は無いようなので、校名は縦書きで、文字色は金色で決定したい。

事務局：参考として現行の大楽毛小学校・中学校の校旗現物を用意している。小学校の校旗は背景色が紫紺、中学校は濃紺である。

委員：背景色は実際の生地を見ないと、印刷物ではわかりづらい。生地見本は用意できないのか。

事務局：紫紺、濃紺以外に用意して欲しい色はあるか。

委員：濃い緑もお願いしたい。

事務局：見本については、業者に確認してみる。用意出来れば各委員に見て頂きご意見を踏まえて後日背景色を決定したい。

※後日、各委員による色見本確認後、投票により、ピース紺(濃紺)に決定

(3)教育部会について(報告)

委員：小・中学校の統合ではなく、新しい学校を作るという意識で教職員と共有し、開校に向けた最終年度を迎えている。

小学校・中学校の垣根を取り払い、開校に向けて準備を進行中。

教育部会の取組みとして、今年度は10回程度を実施予定。

体育祭、運動会、文化祭、学芸学習発表会などの大きな行事も協議の上で決定予定。学習活動・授業の合同研修として、小中教員が連携し、1年生から9年生までの学びを保障するための教科部会を組織。

5年生以上は教科担任制を導入予定。小学校では縦割り活動や総合的な学習時間の改変も進行中。

地域・保護者との連携については、小・中コミュニティースクール協議会を一本化し、PTA も小中合同で活動。開校準備協議会や教育部会の取組を説明する場を、夏休み前後に開催予定。工事の進捗や登下校バスの説明も予定している。

小中教職員が互いに授業サポートをおこない、児童・生徒の交流機会を創出。今年度中に全小学生が中学校校舎に足を踏み入れる機会を設ける方針。

新しい制服のデザイン、ジャージについては、コミュニティースクール協議会の承認を頂いているが、「紺のブレザー」「シルバーのリボン」、白、ゴールドは大楽毛海岸の砂、白はハマナス、ペン先等をイメージしているものとなった。

また、ジャージについては、最も人気のあった「赤」を採用し、バックプリントの文字を5色とし5学年分に対応する予定。児童・生徒数が減少した際には、このバックプリントの必要性について再検討する。

教育部会からの報告は以上である。

会 長:教育部会からの報告内容について、質問等があるか。無ければ次の議事へ。

(4)工事スケジュールについて

事務局:大楽毛学園の整備計画については、これまで大楽毛小学校、中学校との協議により作成した計画案を、当協議会にてお諮りし、ご意見をいただきながら進め3月末に完了したもの。

新年度に入り、委員にも変更があったことから、改修・計画内容と今後のスケジュールについて改めて説明をおこなう。

大楽毛中学校の校舎に、大楽毛小学校および中学校を統合する。

既存校舎を改修し、国道側に鉄筋コンクリート造り3階建ての増築等を建設する。そこには、大楽毛児童センターも新設予定。

既存校舎の改修内容としては、普通教室や特別支援教室の間仕切り、LED照明の更新となる。

各階の計画詳細については、1 階に普通教室4室、特別支援教室2室などの間仕切り、体育館のバスケットボールゴールを高さ調整可能なものに更新。増築等1階へのエレベーター設置。

2階には、図書室、交流室、生徒会室などを配置。

3階には、多目的室、サブアリーナを配置。

また、増築等は津波緊急避難施設として3階に一時避難場所を設置する。工事スケジュールについては、本年6月に着工し、改修工事は2026(R8)年2月に完成する。増築工事については、その後も工事をおこない、2027(R9)年12月10日の工期を予定している。

学校や近隣の皆様には、ご迷惑をお掛けしますが、ご理解ご協力を頂きながら事業の推進に努めてまいりたいと考えているのでよろしくお願いしたい。

委員:地域スポーツクラブで、小学校の体育館を利用しているが、小学校校舎の今後の予定はどうなっているのか。

事務局:現時点で小学校校舎における今後の利用については未定である。

委員:校舎移転後も小学校体育館の利用を希望する声が多いが可能か。

事務局:今ここで答えることはできない。関係部署と相談しながら進めていきたい。

委員:このことについては、市長への要望も考えている。

事務局:承知した。

(5)安全な通学路の確保とスクールバスの運行体制について

事務局:第5回の開校準備協議会において、通学路やスクールバスの路線や、その運営方法について、たたき台を提示させていただいたが、その協議の中で委員の皆様方から貴重なご意見を頂いた。そのなかで、2つの大きな課題があったと認識しており、1つはスクールバスの運行体制、2つ目は大楽毛3丁目、北2丁目付近の通学路の問題である。

スクールバスの運行体制については、複数のバスによる運行体制が望ましいとのご意見があり、改めて検討することとしていた。

5月に入り、別のバス事業者にもスクールバスの運行に携わって頂けるよう新たな事業者との協議を開始したが、前向きな反応を頂いていることから、引き続き具体的な協議を進めていきたい。

今後、状況に進展があれば協議会の中でご報告させていただく。

課題2つ目、大楽毛3丁目、北2丁目付近の通学路については、前回街路灯や防犯灯、ガードレールの設置などについてご意見を頂いた。

対象となる市道の所管課に対し、ご意見があったことを伝え、併せて市教委としても要望はおこなってはいるが、市内の他地区の道路状況をはじめ、限られた予算内での対応となることから、難しいと回答があった。

引き続き要望は継続していくが、早期の対応は難しいと判断し、昨年から

冬季間を含め今年5月まで担当職員により、現状の道路状況のなかでの最善の通学路選定に向け確認・検討をおこなってきた。

その結果、資料6-2でお示ししている通学ルートが最善と判断したところ
です。

委員:この通学路周辺は除雪が遅いことから、通学時間に合わせた除雪をお願いしたい。

事務局:教育委員会から道路維持事業所へ依頼する。

委員:北3丁目の団地が川を挟んだ左側に広がっている。スタート地点が異なる
のではないのか。

事務局:地図の縮尺の都合でスタート地点をずらしている。ルートについては、冬
季間の雪捨て場となる場所の回避など安全確保の観点から、遠回りにな
るが安全なルートを設定した。

委員:通学路案では中学校までの距離が約1.5キロとの記載があるが、団地の
奥からだと2キロを超える児童も出てくるのでは。

事務局:スクールバスの運行状況にもよるが、2つのバス事業者での運行が可能と
なれば、大楽毛北3丁目に係る児童もバスで拾うことも可能となる。

2つの事業者での運行が可能となれば、この問題を含め、児童・生徒の登
校時間が今より早くなってしまう懸念も解決できることとなる。

委員:スクールバスの定員は何名なのか。

事務局:補助席を含めて49名となっているが、安全上補助席は使用しないので定
員は48名となっている。

委員:バス会社からバスを借りて、運転手は市の職員で賄うという考えはないの
か。

事務局:新たに交渉中のバス会社からは、今年に入り数名の運転手を確保したと
の話を聞いているので、繰り返しになるが引き続きバス事業者との交渉を
進めていく。

委員:2つの事業者による運行となれば、大楽毛南方面にもバス停の設置が可
能となるのか。

事務局:バス停の位置や運行時間などは現時点で未定であるが、今後、事業者との
協議を踏まえ、設置について検討していく。

委員:自宅から大楽毛学園まで2キロ以内となると、1年生や2年生の低学年で
も徒歩通学になるのか。

事務局:2キロ以内だとそうなる。

■担当課係

学校教育部学校教育課教育政策係